

■「効果の見える治水事業」

愛媛県 新川広域基幹河川改修事業(喜多郡内子町)

愛媛県南予地方局大洲土木事務所長 たむら ひろふみ 田村 弘文

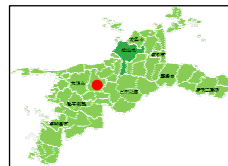


■事業の概要

新川は喜多郡内子町古田に源を発し一級河川・肱川の支流である小田川へ合流する流域面積0.6km²、流路延長1.5kmの河川です。当該河川流域には商店街や人家密集地区があるほか、田園地帯も近年宅地化が進行しています。また、川沿の地形により、一度氾濫すれば洪水は河道に還元することなく家屋密集地区を流下し、南側を流れる門松川へ流入するため、氾濫区域が大幅に拡大します。現況河川の改修前断面の流下能力が過少であること、上流域の道路改良に伴う河川の付け替えにより同区間への負担が増大していることから、流下能力向上が急務でありました。

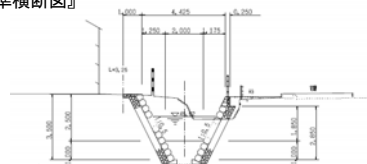
一方当河川の下流小田川合流地点付近で地区の伝統行事である大風合戦の行われる『豊秋河原』や『五十崎風博物館』が、上流域には『龍王公園』が整備されており、新川沿川は地域の重要な観光ルートとなっているほか、地域住民の散策路としても利用されています。このため改修事業の実施にあたっては、治水安全度の向上はもちろんですが、周辺環境のみならず地域の特性を念頭においた計画とすることを考え、河川の景観を考慮し、自然石を使用した巨石積護岸や法面植生など、緑と水に親しむことの出来る空間の整備を試みました。

平成20年度には全ての護岸工事を完了し、事業の進捗に伴い過去に浸水被害のあった地域でも宅地などの土地利用が進むなど着実に効果が現れており、明るい地域づくりに大きく貢献できたものと考えております。



事業概要
 施工位置：喜多郡内子町五十崎
 事業期間：H11～H20
 計画延長：L=700m
 護岸工：L=700m(両岸)
 道路橋：N=5基
 入道橋：N=7基
 サイフォン：1基

『標準横断面』



『改修後断面』



『改修前断面』



■「五十崎地区の浸水被害への取組み」

愛媛県内子町長 いなもと たかとし 稲本 隆壽



内子町は、愛媛県の中央部に位置し、県都松山市から約40kmの地点にあります。町の中央部を一級河川・肱川の支流である小田川が流れており、住民はこの川と密接に関わり、恩恵を受けてきました。最近では、風物詩であった「筏流し」を復活した大瀬地区の川まつり、400年の歴史を持つ五十崎の大風合戦、平家の落人伝説にちなんだ小田地区の灯籠祭り、道の駅「からり」周辺にある知清河川敷公園など、小田川と密に親しんでおります。

又、旧五十崎地区では市民団体「まちづくりシンポの会」を中心とした自然豊かな川づくりの活動が発端となり、多自然型川づくりで大風合戦会場上下流約2.1kmを「ふるさとの川モデル事業」にて整備されています。

さて、新川は五十崎地区の中央部を流下し、大風合戦会場の小田川に合流する1.5kmの中小河川で、当該河川の流域には商店街や人家が密集しております。本川の河積は狭小であるうえ、最近では高速道路や国道56号4車線化改良に伴い、流下速度が短時間となり、たびたび洪水被害に悩まされてきました。この様な状況下、住民は河川改修を切に願っていましたが、今回、広域基幹河川改修事業にて、治水のみならず当町がめざしております周辺環境を配慮した多自然型川づくりで取り組んでいただきました。この河川改修の完成により、近年の異常気象等による洪水に対しても住民の生命、財産を保持し、安心して安全な暮らしが確保出来ることとなりました。

今後とも、国、県のご高配を戴きながら、地域における自主防災組織の育成強化と後世に引き継げる川づくりに取り組んで参りたいと考えています。



五十崎の大風合戦(小田川河原)



内子の町並み



小田地区の灯籠祭り



大瀬地区の筏流し